

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		growのおと 上本町教室		公表日 令和7年3月29日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子様の人数に対し、十分なスペースを確保している。	引き続き、維持してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		お子様の人数に対して十分に配置し、手厚い支援を行っている。	今後も維持してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		四角がなく、安全面においては確保しやすいメリットがある。反面、極力刺激を減らした環境にしているが、中には気が散りやすいお子様もいる。	現状を踏まえ、今後一層それぞれの特性に合わせ、より過ごしやすい環境に出来るよう検討を重ねてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		クッションフロアやマットを敷き、安全確保を行うなど安全面と衛生面には留意し、療育に努めている。	子どもたちの活動に合わせて配置を変えたり等していますが、空間を仕切れるような工夫も今後必要であると考えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		現在、個別部屋はない為、スペースの利用方法を検討してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		それぞれが問題意識を持ち、課題に対しては改善に努めている。	今後もスタッフ間で一層の共有を図り、取り組んでまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		イベント後にアンケートを配布し、希望調査を行っている。	今後も継続してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々昼礼の時間を確保し話し合ったり、その場面場面で意見交換などが出来るよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者による外部評価は行っていない。	自己評価をもとに検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		発達小児科医の先生をお呼びして外部研修を行った。	今後も様々な研修を通して研鑽を積んでまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		日々の連絡帳にてお伝えしている。	今後も努めてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者様と面談にてニーズや課題を伺った上で検討し、作成している。	今後も努めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		お子様の支援に関わる全職員で相談、検討し支援計画書を作成している。	今後も努めてまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有をし、児童発達支援計画に沿った支援に努めている。	今後も一層努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントの際には共通のアセスメントシートを使用している。	内容については引き続きスタッフ間で見直し、検討を続けていきたいと思います。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づいて作成している。	より具体的に支援に生かせるものとなるよう一層努めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		見通しを持ちながら計画性をもって職員間で話し合いながら行っている。	今後も努めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		週替わりで色々な活動が経験出来るよう職員間で意見を出し合いながら固定化しないようにしている。	今後もレパートリーを増やしていけるような道具を揃えたり、今あるものでどういった使い方が出来るかなど、職員それぞれでアイデアを出し合っていきたいと考えます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		作成し、支援を行っている。	以後も引き続き努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々昼礼の時間を確保し、支援内容の共有を図っている。	以後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間で必ず共有している。	以後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録は毎日行っている。	今後はそれらを一層意味のあるものにし、活動していけるよう努めて参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングは半年間に一度実施している。	以後も努めてまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		よく理解した職員が参画している。	以後も積極的に参加してまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保育園、幼稚園との連携は行っている。	今後、必要に応じて連携をはかってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		幼稚園、保育園の送迎の際や、実際に訪問していただいて情報共有をしている。	今後も継続して行ってまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現在はまだ行っていない。	今後対象児が増えるに伴い、必要な連携を図れるよう努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		今後、必要に応じて連携をはかってまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後、機会があれば必要に応じて、検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			保護者様とのコミュニケーションを大切にしております。 今後一層努めてまいります。保育園送迎の方に関しましても面談のお声掛け回数を増やすなど、機会を担保できるよう努めたいと考えます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			発達小児科医の先生をお呼びして研修を行ったり、ご家族で楽しめるイベントを実施している。 継続してまいります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			丁寧な説明を心掛けている。 引き続き、努めてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			対応に努めている。 引き続き、努めてまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			保護者様にご理解いただき、同意をいただいております。 今後一層丁寧な説明を心掛けていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			必要に応じて来所してもらったり、電話で対応できるよう努めている。 以後も一層お力になれるようスタッフ一同研鑽を積んでまいります。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		イベントにて保護者様同士が繋がる機会も設定している。	以後も継続し、回数等に関しては引き続き検討してまいります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応に努めている。	引き続き、お子様はもちろん少しでも保護者様のお力になれるよう努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に通信を発行している。	回数や内容に関しては検討を続け、よりよいもの出来るよう引き続き努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには十分に配慮している。	引き続き、お預かりしている個人情報は大切に扱わせていただきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々に応じた対応に努めている。	以後も努めてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		不定期ではあるが、地域の方々にも参加していただけるセミナー等を実施している。	引き続き、つながりを図っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルも適宜スタッフで見直し、訓練にあたる。	保護者様への周知は引き続き課題であると考えております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、年間を通じて各種避難訓練を実施している。	引き続き、お子様の大切な命を守るよう訓練を重ねてまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		ご利用前に必ず保護者様に必要事項の聞き取りを行っている。	引き続き、継続をしてまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		ご利用前に必ず保護者様を通じて確認している。	引き続き、継続をしてまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に避難訓練を実施し、その都度見直しを行っている。参加できなかった職員にも共有している。	引き続き、継続をしてまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			来年度から取り入れられるよう検討中です。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		共有している。	引き続き、意識を高めてまいります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		内部研修を行った。	以後も継続してまいります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		研修を行い、スタッフ間で周知すると共に保護者様に同意をいただいている。	以後も継続してまいります。	